

# 香り豊かな島根のバラ「さ姫」を活用した 酒類・飲料・食品の販路拡大と新商品開発



Bara Sa-hime

島根県大田市に、高貴なベルベツトカラーと優雅な香りが印象的なバラがある。名前は「さ姫」。大田緑地株式会社福間厚社長は、新しい島根の特産品として、このバラの育成を手がけた。

「存在感が薄いとわれがちな島根。ここから価値のあるものを発信すれば、お宝を見つけたような気分



略歴 / 昭和37年生まれ。昭和62年一宮酒造有限会社に入社、平成7年代表取締役就任。

一宮酒造代表取締役 浅野 浩司

になるはず。島根は、出雲大社に代表されるように神話が残る土地ですから、高貴なイメージでこのバラを作ったんです。納得できる花が咲くまでに10年かかりましたね。地元三瓶山の昔の呼び名である佐比賣山にちなんで、『さ姫』と名づけました」

その芳醇な香りと美しさ、従来のは2倍という大きな花弁は評判になり、一躍注目を浴びる。

## 素材としてのバラ「さ姫」

一宮酒造有限会社は、雄大な三瓶山の麓から湧き出る水を使い、できたの味わいと風味を大切にしたり日本酒醸造を手がける。日本酒の苦手な人にもおいしく飲んでもらえるような酒づくりを目指して、研究を重ねていた。そんなとき、浅野浩司社

長が出会ったのが「さ姫」だった。

「日本酒とバラの組み合わせなんて考えたこともなかったけれど、日本酒が苦手な人向けにうまく使えるのではないかと、この花の良さを引き出す方法はないか、という思いつきからスタートしました」

鮮やかな色を出すのに苦労したが、低アルコールの新しいリキキュール「薔薇酒」が誕生した。

また、同じく「さ姫」を使って、食品を開発した会社がある。こんにやくやジャム、清涼飲料水などを製造しているさんべ食品工業株式会社だ。勝部邦彦社長は、「さ姫」をジャムに使えないかと考えた。

「バラだけではジャム特有の粘りが出ないので、はじめはイチゴやリンゴと合わせたんですが、味が今ひとつだったんです。そこで福間社長に相談したら、『梅もバラ科ですよ』と教え

てくれた。さっそく梅と組み合わせ

みたら、味も色も非常に引き立つ商品をつくることができました。バラと梅を混ぜる比率が、非常に難しくなりました。このジャムには、増粘剤や保存料といった添加物をまったく使っていません。ジャム以外に『さ姫』で開発したローズウォーターやローズシロップも、もちろん無添加です。まだ試行錯誤を重ねていますが、安心して楽しめるお客様にも喜んでいただいています」

今回の認定で、一宮酒造有限会社・さんべ食品工業株式会社は共同申請を行っている。

## 地域資源としての展開

浅野社長は、バラのお酒をさらに改良しようと意欲を燃やす。

## 事業概要

大田市の大田緑地株式会社によって育成されたバラ「さ姫」は、高い芳香性、鮮やかな色彩、苦みや酸味が少ないという特徴と、自然環境条件で長期間収穫でき、かつ低農薬栽培されるという食品等に活用可能な優れた地域産業資源である。

「さ姫」を活用し、バラ酒の高品質化と販路拡大、ローズウォーター、ローズシロップ、ローズコンフィチュール等の新商品の開発及び販路拡大を目指す。

## 売れる商品づくり

**競争力** バラ酒・バラの香りと色を抽出した、日本酒が苦手な人でも飲みやすい、低アルコールの新しいタイプのリキキュール。

ローズウォーター、ローズシロップ、ローズコンフィチュール・輸入や国産品の大半は香料、着色料、増粘剤などの添加物が使用されている例が多いが、新開発品には一切使用しない。

**市場性** 消費者の嗜好の多様化や低価格志向、本物志向に対応した個性ある購買層のニーズに合致

**販路** 「さ姫」ブランドの知名度を高めるPR活動により、ライフスタイルや健康に関心が高いこだわりのある大都市圏の客層を主なターゲットとし、試飲・試食会、ネット販売等の販促ツール活用により需要を開拓する。

地域資源における  
関係事業者との連携

「さ姫」のPR及び安定供給に関する大田緑地株式会社との連携  
バラの香りと色の抽出方法に関する県産業技術センターとの連携  
「さ姫」を利用した加工品製造業者との販売促進に関する連携

## Information



「今ある商品は、食事にも合う軽いタイプに仕上げていますが、今開発を進めているのは、もっと付加価値のあるプレミアムなお酒。グラスに注いだときに香りがふわっと立つような、まさにバラの香りに酔うようなお酒をつくりたいんです。酒づくりに地域の素材を使うというのは以前から考えていました。地域資源を活用すると、商品にストーリー性が生まれるんです。土地の歴史をバックに素材をうまく使って販路を拡大していけば、地域への貢献にもつながるのではないのでしょうか」

勝部社長も、バラの飲料や食品をもっと展開させたいと語る。

「梅を使わない、バラだけのジャムに挑戦しています。ローズウォーターも、健康志向の方々にミネラルウォーターの一つとして注目していただけるでしょう。島根とバラはまだ結びつかないかもしれませんが、バラを使った商品の開発を進めてどんどん発信すれば、県全体のイメージアップにもつながるかもしれない。そんな商品をつくりたいですね」

三社が共有するのは、開発への熱意と地域へのあたたかな思いだ。

【活用する資源】  
**バラ「さ姫」**  
【地域】  
島根県大田市  
【認定日】  
平成19年10月12日  
【認定行政庁】  
経済産業省、農林水産省、財務省

一宮酒造 有限会社(共同申請:さんべ食品工業株式会社)  
所在地 ●島根県大田市大田町八 271-2  
TEL ●0854-82-0057  
URL ●http://www.ichinomiya-s.jp  
設立 ●明治29年10月1日  
資本金 ●500万円  
従業員数 ●12人 (酒造期)

●会社事業内容  
清酒製造及び全酒類卸業。銘酒「石見銀山」は、全国新酒鑑評会で6回金賞を受賞。県内で発売した薔薇酒は、好評により全国販売へと展開した。

島根県